

名簿兼勤務表(現在在職している者)

年

月分

事業所名()

職種	氏名	勤務形態 ○をつけること	資格 ○をつけること	資格取得年月日 (登録年月日)	採用年月日	勤務日の平均 勤務時間	月合計 勤務時間	兼務をしている 場合その職務
管理者		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
計画作成担当者		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
計画作成担当者		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
介護職員		常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	年 月 日	時間	時間	
						合計	時間	

利用者数	人
(うち要支援者)	人
生活保護受給者	人

名簿兼勤務表(現在在職している者) 2018年4月分 記入例

事業所名()

職種	氏名	勤務形態 ○をつけること	資格 ○をつけること	資格取得年月日 (登録年月日)	採用年月日	勤務日の平均 勤務時間	月合計 勤務時間	兼務をしている 場合その職務	
管理者	○山 ○男	常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	2012年 4月 1日	2012年 10月 1日	8時間	160時間	〇〇〇事業所 管理者	
計画作成担当者	○川 ○美	常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	2016年 4月 1日	2017年 4月 1日	8時間	160時間		
介護職員	○木 ○子	常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	2016年 10月 1日	8時間	160時間		
介護職員	○田 ○男	常勤・非常勤・兼務	CM・介護福祉士 看・準看・他()	年 月 日	2012年 4月 1日	8時間	160時間		
							合計	640時間	

利用者数	9人 (うち要支援者 0人)
生活保護受給者	2人

実地指導当月時点で在籍している職員についてご記入ください。紙面が不足する場合にはコピーして使用してください。

※市が対象として指定する月の状況について全職員を記入すること

1.職種欄・氏名欄

職種欄に該当する職員氏名を記入すること。

2.勤務形態欄

該当するものに○をつけること。

3.資格欄

該当するものに○をつけること。

※略記号説明

CM:介護支援専門員、他:その他

4.資格取得年月日欄

直近の資格取得日を記入すること。

介護支援専門員については、登録証明書の登録日を記入すること。

5.採用年月日欄

貴社等が採用した日を記入すること。

6.勤務日の平均勤務時間欄

当該月の勤務日あたりの平均勤務時間数を記入すること。

7.月合計勤務時間欄

当該月(初日から末日まで)に勤務した合計時間数を記入すること。

8.兼務をしている場合その職務欄

兼務をしている場合、その職務名、業務名を記入すること。

9.利用者数

当該月の利用者数を記入すること。

10.生活保護受給者数

利用者のうち生活保護の受給者数を記入すること。

(様式1)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

< 年 月 >

サービス種類 (認知症対応型共同生活介護)
事業所・施設名 ()

Main table with columns for staff type, name, shift, days of the week (1-28), 4-week total, and remarks.

備考 1 標題の< 年 月 >に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。

- 2 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間]
3 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①~)を中・下段には昼・夜間帯の実働時間をそれぞれ記入してください。兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

Table showing shift breakdown with columns for shift type, actual working hours, and shift type (day/night).

4 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分 table with categories A (常勤で専従), B (常勤で兼務), C (非常勤で専従), D (非常勤で兼務).

5 設定時間について記入してください。

Table for setting time with rows for user's living time (day) and night/late night time (night).

- 6 常勤換算が必要な職種(看護職員・介護職員)は、A~Dの「4週の合計勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が4週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
7 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

(様式1)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

< 年 月 >

サービス種類 (認知症対応型共同生活介護)
事業所・施設名 ()

Main table with columns for job type, name, shift, and weekly hours (Weeks 1-4). Includes summary rows for daily total hours and user count.

備考 1 標題の< 年 月 >に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。

- 2 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間]
3 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①~)を中・下段には昼・夜間帯の実働時間をそれぞれ記入してください。
兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

Table showing breakdown of working hours by employee type (①-⑩) and shift (day/night), including actual working hours and overtime.

4 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分 table with categories A (常勤で専従), B (常勤で兼務), C (非常勤で専従), D (非常勤で兼務).

5 設定時間について記入してください。

Table for setting user living time bands (day and night).

- 6 常勤換算が必要な職種(看護職員・介護職員)は、A~Dの「4週の合計勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が4週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
7 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

(様式1)

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表

< 年 月 >

サービス種類 (認知症対応型共同生活介護)
事業所・施設名 ()

Main table with columns for employee type, name, shift, and weekly hours (Weeks 1-4). Includes summary rows for daily total hours and user count.

備考 1 標題の< 年 月>に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。

- 2 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間]
3 申請する事業に係る従業員全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①~)を中・下段には昼・夜間帯の実働時間をそれぞれ記入してください。兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

Table showing employee shift details with columns for shift type, actual hours, and shift periods (day/night).

4 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分 table with categories A (常勤で専従), B (常勤で兼務), C (非常勤で専従), D (非常勤で兼務).

5 設定時間について記入してください。

Table for setting user living time bands (day and night).

- 6 常勤換算が必要な職種(看護職員・介護職員)は、A~Dの「4週の合計勤務時間」をすべて足し、常勤の従業員が4週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
7 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

(様式1)

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表

< 2018 年 4 月 >

サービス種類 (認知症対応型共同生活介護)
事業所・施設名 ()

職種	勤務形態	氏名	勤務時間	第1週							第2週							第3週							第4週							4週の合計	常勤換算後の人数	備考 (兼務の内容等)
				1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金			
管理者	B	介護 ○男	勤務 時間 外務	⑥	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	20				
計画作成 担当者	B	介護 ○男	勤務 時間 外務	⑦	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	56				
介護職員	B	介護 ○男	勤務 時間 外務							⑦			⑦				⑦				⑦				⑦			⑦	84					
介護職員	A	介護 ○子	(昼) (夜)		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	160				
介護職員	A	介護 △子	勤務 (昼) (夜)	①		③	④		①	②	①		③	④		①	②	①	③	④		①	②	①	③	④		①	②	160				
介護職員	C	介護 △男	勤務 (昼) (夜)	③	④			②		①	③	④					①	③	④			①	③	④			②		①	128				
介護職員	C	介護 □子	勤務 (昼) (夜)		②		③	④		①	③	④				①	③	④			①	③	④			②		③	④	96				
介護職員	C	介護 □男	勤務 (昼) (夜)	②	⑤		②	①	③	④			②	①	③	④			②	①	③	④			②	①	③	④	141					
介護職員	C	介護 ×子	勤務 (昼) (夜)	④		⑤	⑤		②	③	④		⑤	⑤		②	③	④		⑤	⑤		②	③	④		⑤	⑤	②	③	136			
介護職員	C	介護 ×男	勤務 (昼) (夜)	⑤	③	④			⑤	⑤	③	④			⑤	⑤	③	④			⑤	⑤	③	④			⑤	⑤	③	④	104			
介護職員			勤務 (昼) (夜)																										0					
介護職員			勤務 (昼) (夜)																											0				
介護職員			勤務 (昼) (夜)																											0				
介護職員			勤務 (昼) (夜)																											0				
昼間の合計時間/日				37	30	29	30	25	32	30	29	25	29	30	25	32	30	29	25	29	30	25	32	30	29	25	29	30	25	32	30	813		
利用者の人数				8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	219		

備考3における勤務時間数に基づいた常勤・非常勤の別を記入してください。また、同一事業所内で複数の職種を担う場合や介護職員が複数のユニットにまたがる場合に兼務となります。

備考4に基づいた①～⑭までの勤務時間を記入してください。

日ごとの通所の利用者数を記入してください。

備考 1 標題の< 年 月 >に年月を入力すれば、曜日は自動表示されます。

2 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間 [就業規則等で定められた1週間あたりの勤務時間]

40 時間/週

3 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)について、上段には勤務時間(①～)を中・下段には昼・夜間帯の実働時間をそれぞれ記入してください。兼務の職員は2段使用し、実働時間についてはその職種ごとの勤務時間数を分けて記入してください。

(内訳)

勤務時間	実働時間合計(休憩時間を除く)	内訳		勤務時間	実働時間合計(休憩時間を除く)	内訳	
		昼	夜			昼	夜
① 9:00 ~ 18:00	8	8.0					
② 11:00 ~ 20:00	8	8.0					
③ 15:00 ~ 24:00	8	6.0	2.0				
④ 0:00 ~ 9:00	8	3.0	5.0				
⑤ 7:00 ~ 13:00	5	5.0					
⑥ 9:00 ~ 10:00	1	1.0		⑩ ~		0	
⑦ 10:00 ~ 18:00	7	7.0		⑩ ~		0	
⑧ ~	0			⑩ ~		0	
⑨ ~	0			⑩ ~		0	
⑩ ~	0			⑩ 有休		有	

備考6の時間帯(昼)と(夜)におけるの実働時間(休憩時間を除く)を記入してください。また日付が変わる24時で区切って記入してください。

4 勤務形態欄は以下のとおり記入してください。

勤務形態の区分	
A	常勤で専従
B	常勤で兼務
C	非常勤で専従
D	非常勤で兼務

5 設定時間について記入してください。

利用者の生活時間帯(昼)	6:00 ~ 22:00
夜間深夜の時間帯(夜)	22:00 ~ 6:00

6 常勤換算が必要な職種(看護職員・介護職員)は、A~Dの「4週の合計勤務時間」をすべて足し、常勤の従業者が4週に勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。

7 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。